

市政だより 小石ひろかず

《平成24年7月号》

発行所

小石ひろかず後援会

鳥栖市萱方町151-9

TEL 0942-83-8523

FAX 0942-82-6676

Vol.29

◇鳥栖市議会・六月定例会報告

平成二十四年六月定例会では、鳥栖市一般会計補正予算（第一号）など、執行部提出の一〇議案と報告二件、意見書四件を原案どおり可決、意見書一件を否決し、一般質問ならびに各常任委員会の審査・討議が行われ、六月二〇日に閉会しました。その中の主なものを報告いたします。

《平成二十四年六月補正予算》

平成二十四年六月鳥栖市一般会計補正予算（第一号）の総額は、歳入・歳出ともそれぞれ四千八百九十八万九千円で既決の予算と合わせると、本年度の予算総額は二百二十一億四百九十九万七千円となり、対前年度同期伸び率一・二%増になりました。

《主な歳出》

◎建設課・舗装路面補修委託料 二百万円・道路舗装工事費 九百万円・住宅リフォーム緊急助成事業 二千四百七十六万六千円・◎教育委員会―総務課・鳥栖西中学校防火シャッター改修工事費（新規） 四百万円・学校教育課・開かれた学校づくり推進事業 二百六十万円・◎スポーツ振興課・儀

徳町運動広場照明設備改修工事（新規） 六百五十万円・など
《小石ひろかずが所属する
総務常任委員会》

◎条例に定められた常任委員会の任期（二年）、が満了し又今まで四つだった常任委員会が総務常任委員会・建設経済常任委員会・文教厚生常任委員会・の三つになり、小石ひろかずは総務常任委員会の所属になりました。

◎財政調整基金繰入金 八千二十六万六千円／議案甲第21号・鳥栖市証明等手数料条例の一部を改正する条例他、三議案原案可決

《議案外》でサガン鳥栖練習環境整備に関する進捗状況について「報告」を受けました。

現在、クラブハウス及びグラウンド整備に伴う実施設計を行なっています。◇クラブハウス建設工事に伴う実施設計及び工事監理業務 請負業者・ひかる建築設計室◇鳥栖スタジアム北部グラウンド改修測量設計業務 請負業者・第一復建株式会社、佐賀事務所

◇照明施設 株式会社サガン・ドリームスから要請のあった、照明施設については周辺環境に配慮し

取り下げる旨の申し出を受け、設置しない。

《整備概要》

◇整備予定場所 鳥栖市弥生が丘（鳥栖北部丘陵新都市内・中学校予定地）三万平方メートル◇土地所有者 鳥栖市土地開発公社◇クラブハウス 軽量鉄骨造2階建 建築面積／約四百五十五平方メートル、延床面積／約八百三十平方メートル（事務所・会議室・更衣室・トイレニング室・浴室等）

◇グラウンド 天然芝グラウンド2面化、（駐車場・芝生整備・給排水設備・外構舗装・防球ネット・フェンス等）※詳細設計により面積・内容等は変更になることがあります。

〔小石ひろかず・一般質問〕

◎学校給食センターの 早期整備を！

〔質問要旨〕

学校給食基本理念・基本設計の内容からは、現在の給食施設は学校給食衛生管理基準を満たしておらず、衛生面で不安がある。安全な給食提供のためには、計画のとおり学校給食センターの早期整備が必要と考えるが、未だ建設用地

が決まっていけない。建設用地について決定時期をお伺いします。

【答弁要旨】

学校給食施設の現状は、学校給食衛生管理基準を満たしているとは言えない状況であり、学校給食の安全確保を早急に行う必要があることから学校給食センターの整備により解決したいと考えたところであります。

現在、学校給食センターの建設用地の候補地を選定中のところであり又建設用地の要件としては、各学校までの配送時間を考慮する必要がある、さらにアクセス道路・上下水道・都市ガス等の基礎的なインフラ状況も考える必要があります。

建設用地の決定時期については、平成二十五年度中の建設着工という目標を踏まえ、平成二十四年九月議会には、補正予算の計上ができるように努力します。

◎歴史遺産を活かした

まちづくり！

【質問要旨】

市長にはラ・フォル・ジュルネを中心とした文化のまちづくり、サガン鳥栖、久光製菓スプリングス、などスポーツのまちづくりに併せ、歴史遺産にも目を向け、歴史のまちづくりを推進していただきたいと考えます。国の事業予算などを、積極的に導入して「歴史シンポジウム」を開くなど、さまざまな手段を考えることができません。ぜひ市長の考えをお伺いします。

【答弁要旨】

活気あふれた個性豊かな、まちづくりには、文化・スポーツの振興とともに、市民が自らのまちの歴史や歴史的文化遺産を知り、学ぶことにより、地域・風土への誇りや郷土を自らのよりどころとする心を育むことが重要です。勝尾城筑紫氏遺跡は、市内に残る様々な歴史的遺産の中でも、まちづくりや地域活性化に資する核の一つとなるものと考えています。現在の鳥栖市のまちの原形を造ったのが勝尾城城主の筑紫氏であり、筑紫氏が勝尾城を拠点と

した戦国時代であると言われる。こうした史跡に対する理解を深め、市民が地域の誇りとして学校教育や生涯学習に積極的に活用していく取り組みを従来から進めております。昨年十二月に催した「ふるさと発見への挑戦」と題したシンポジウムでは、地域の歴史的な文化遺産とまちづくりをテーマに、様々な視点から活発な意見が交わされ、文化財が個性的なまちづくりに大変有用であることを多くの参加者に知っていただくことができました。このように、勝尾城筑紫氏遺跡をはじめとする市民の歴史的な文化遺産を、まちづくりや地域活性化に資する取り組みを継続させるとともに、今後予定される史跡の整備事業の進捗に併せて、市内外を問わず多くの方々に史跡のすばらしさを理解していただくような事業を、国の補助など様々な財源を活用して、さらに充実・発展させていこうと考えています。

◎消火器に関する

問題について！

指名競争入札による平成二十二年三月の契約で「小中学校消防用消耗品購入事業」として消火器等を二百九十九万三千二百三十五円で受注したM業者が同時に小中学校の廃消火器三百二十本の産業廃棄物処理も取り扱っているが、廃消火器が産業廃棄物等として最終的に処分された証明書が担当課に保管されているか問いました。相手方M業者から証明書等の提出がなかったこと、提出がなかったこと、提出がなかつたこと、提出がなかつたこと、とは適切ではなかつたこと、「不用消火器処分証明書」が二年以上経過した平成二十四年四月上旬に提出されたこと、の答弁がありました。提出に対し不自然さがあり、この件に対し今後さらに説明を求めていきます。

(以上)

◎その他「勝尾城筑紫氏遺跡の現状について」などを質問しました。

小石ひろかずへのご意見、ご要望などお寄せください。